

SKY 7 2018

健やか

快適

豊か

発行:公益財団法人京都SKYセンター
編集・制作:京都新聞出版センター
環境への負担を低減した用紙と大豆インキを使用しています

- 1 巻頭インタビュー 素敵なのこのひと
仏師
松久佳遊さん
- 3 特集
緑陰の古仏巡礼
- 8 ふるさと再発見!
古墳から近代産業まで丹後ちりめんの町
- 9 シニア・マネジメント ~今、考えるシニアの税金~
- 10 私のまちの食堂へ
宮津市・宇治田原町・精華町
- 12 シニアのための予防医学 Q&A 加齢黄斑変性
- 14 お歩きやす京都 南北朝と下剋上④ 南朝のふるさと
動乱を招いた皇位継承争い
- 16 SKYだより
京都SKYシニア大学 受講生募集!/
SKY ふれあいフェスティバル2018参加募集
- 18 SKY広場 さあ来るSKYサークル SKY女性カラオケ同好会
SKY健歩会
生きがいづくり推進員 岩本照美さん(京都市ブロック)/推進員だより
- 20 京の食材 豆知識! 九条ねぎ
- 21 生涯現役社会推進プロジェクト
- 22 京都府警察本部からシニアの皆さんへ発信!
- 23 お隣の法人会員さん 山中工業株式会社
- 24 SKYインタビュー 京都の文化を学ぶセミナー講師
中江好喜さん
- 26 街道・宿場町を歩く 因幡街道 平福宿
- 28 読者プレゼント

表紙:大御堂 観音寺 十一面観世音菩薩像



仏師
松久佳遊さん
大仏師の祖父・父を持ち、自身も仏師として活躍する松久佳遊さん。仏像に向かう時の思いなどをお聞きしました。

仏像は究極のオーダー
人のため。自我は出さず



収蔵室で寺に収められるのを待つ2体の仏像。右が父・宗琳さん、左が佳遊さんの作

私の家はいつも身近に仏像があつて、祖父・朋琳や父・宗琳が仏像を彫るそばで、かんたんな削りをしたり、板をもらって釘を打つてみたり、そんなことをよくしていました。

特に絵を描くのが好きで、落書きや少女マンガをまねて描いたりして遊んでいたのですが、父は絵を描くことをすごく喜んでいましたね。

日吉ヶ丘高校に進み、日本画を学ぶことにしましたが、特に仏像の世界に進もうとか、家業のことは当時

は全く興味がなくて、父に「日本画のコースにしとき」と。日本画の材料と仏像の彩色の材料はほとんど同じで、色彩感覚も日本画と仏像は同じ土俵なので、父はもくろみが合ったのかもしれないね。私は、ちょうど上村松園さんの美術画を見て、こんな風に描ければ良いなと思って楽しくなっていました。

仏像制作の中には、彩色や截金きりかねがありますから、父はその戦力にと考えていたのかもしれませんが、ただ、手伝えとは言わずに「面白いぞ、楽しいぞ」と、今思うと乗せ上手でしたね。父は苦しんでものを生み出す人ではありませんでした。家業だからするのではなく、仏像をつくることにすごく喜びをもっていた人で、それを背中で見せてくれました。

そして、京都芸術短期大学を卒業すると、仏絵師として父の工房に入りました。

姉が截金師として、私が仏絵師として工房を手伝っていましたが、父が亡くなったのをきっかけに、仏像彫刻をするようになりました。33歳の時です。ずっと描いていた時も父から「やってみると面白いぞ」と言われていて、自分でも彫ってみたいという思いは持っていました。道具